

# 北洋銀行企業再生寄附研究部門が 設置されました



北海道企業は「なぜ」「どのようにして」  
危機的な状況に陥るのか？  
企業を再生するためには、  
「何を」「どのように」すべきか？



北海道最大の銀行である北洋銀行からの寄附で「北洋銀行企業再生寄附研究部門」が、本年4月に本学ビジネス創造センターに新設されます。研究テーマは「北海道企業の倒産および企業再生に関するケース分析」。全国の国立大学の中でも、企業再生をメインテーマとする寄附講座・寄附研究部門の設置は初めての試みです。また、地域金融機関の寄附によって設けられる講座は数多くありますが、そのほとんどが学生向けの特別講義や、市民向けの公開セミナーなど。研究を軸とした部門の開設は極めて稀で、その点でもユニークな試みであるといえます。

研究体制は、客員教授として、北洋銀行から田浦一史調査部部長を迎え、本学からは旗本智之大学院商学研究科助教授が当たります。田浦氏は、同行入行以来、主として融資業務においてキャリアを積み、道内企業の再生を数多く手がけられた事業再生のスペシャリストです。また、旗本助教授は、大学院で「コーポレート・ファイナンス」「会計情報と経営分析」「ビジネスプラン」「ケーススタディ」等を担当しています。

バブル崩壊後、倒産や廃業が社会問題となり、事業の再生に対する関心が高まりをみせている今日、危機的な経営状況に陥った企業の実態を明らかにし、地域経済の実情を踏まえた企業再生のあり方を探求することは、次代の北海道経済を切り開くうえでとても重要です。

多くの企業再生に取り組み、その再建を実現してきた北洋銀行の豊富なデータ“経験知”と、本学に蓄積されている研究資源、学術的な視点による“理論知”を融合することで、倒産から企業再生へ至るプロセスを体系的に研究していきます。具体的には、企業倒産の現状分析、再建案の策定手法、企業再建の成功の秘訣などを取り上げ、新たな経営理論や道内企業に適した再生の枠組みなどを模索していきます。

この試みから得られる研究成果は、学生への講義、地域住民を対象としたセミナーの開催など、幅広い人々に還元する計画です。そして広くは長期低迷している北海道経済の活性化に貢献し、社会的な知的共有財産を創造することが期待されます。

## Research program

Phase 1

ケース作成

Step 1 北海道における企業倒産の現状分析

Step 2 危機的な経営状況に陥ったケースの収集

Phase 2

ケース分析

Step 3 作成されたケースに基づいた企業分析

Step 4 危機的な状況から再生に至るプロセスのフォロー

Phase 3

スキームの体系化

Step 5 企業再生のためのフレームワークづくり

Step 6 企業再生を成功に導くための要因探索

Phase 4

成果の公表

Step 7 研究成果の公開

Step 8 研究成果に基づいた教育プログラムの開発